

9 / 4 第 2 回 呉市中小企業・小規模企業振興会議ワーキンググループ議事概要

1. 「地域戦略人材確保等実証事業」の実施状況等について（報告） 資料 1
 - ・プロボノ人材の呉市での活用状況等について、大桃様と安川様が報告
プロボノ人材の受け入れ予定事業者：呉信用金庫、（株）すぐる
- 2 地域雇用活性化推進事業の採択について（報告） 資料 2
 - ・採択を受けたこと、令和 6 年度の事業概要について、事務局が報告
- 3 呉市中小企業・小規模企業振興基本条例実践シンポジウムについて 資料 3
 - ・第 2 部パネルディスカッションの登壇者の決定
登壇者：大桃綾子氏（Dialogue for Everyone 株式会社 代表取締役）
服部亨祐氏（呉信用金庫 地域貢献部 部長）
中里嘉孝氏（呉精器工業（株）代表取締役）
- 4 市内企業経営動向調査の進捗状況について（報告） 参考 1, 2
 - ・アンケート結果調査概要の報告
- 5 令和 6 年度重点取組テーマ 「人材」に関する具体的な施策等について 参考 3
 - (1) 議題の内容
 - ア 「人材」に関する自社の課題感（問題と感じていること）や自社の取組、企業動向アンケート結果等の感想 等
 - イ 「人材」に関する具体的な施策案
 - (2) 発表内容

【A グループ】

ア

 - ・エンジニアが新卒採用できない。
 - ・新卒採用が早期化している。
 - ・インターンシップをした企業にそのまま入り、自社には来ない。
 - ・5 年後には若者が減少しているため、採用ができなくなる
 - ・高専や呉の高校では、インターン先でほぼ就職が決まっている。
 - ・大学に進学する人については、呉に戻ってこないことが多い。
 - ・一方、都市部では 3, 4 年で退職し、地方に帰るといった人も増えている。（大学生も、地方に帰りたいと考えている人が増えている）
 - ・シニア層の求職者が多い。
 - ・DX 等により、今ある人材を維持し、売り上げを維持する。

イ

- ・大学3年生向けにセミナーを開催
(リクナビ・マイナビの登録者や地元へ帰りたい人へのアプローチ)
- ・短期のインターシップ
- ・中学生や高校生に向けた企業見学を行うのはどうか。
- ・都市部の大学の地方創生学部に対し、呉市としてアプローチ
- ・高校生・大学生が主体となり就職サイトを立ち上げ・運営し、起業してもらう。

【Bグループ】

ア・イ

- ・人材確保策やDXについて、市内企業全体で解決
(色々な企業が同じことをしてもコストがかかり、人手も足りないため、業種ごとに協調領域と競争領域を定め、協力して人材不足策を行う)
- ・人手不足の解消策として、AIやロボットを活用(メールや議事録作成等から)。
- ・人材のシェアリング、無料マッチングプラットフォームの構築
(有能な人材であるが、柔軟な働き方を求めている人のため)
- ・上記取組みを行う企業に対し、融資を行う金融機関へ公的支援を行う。
- ・1社に縛られた働き方ではなく、複数社と業務委託契約が増えることを見据え、新たな施策を検討

(3) 次回ワーキンググループ実施内容

- ・具体的な施策が決定していないため、事務局において意見を取りまとめ、ワーキングメンバーに掲示し、次回ワーキングにおいて再度議論